

—企業の存続—

そのうちでは遅い 事業承継は 最低5年前から 準備を

企業の存続は、経営にとって永遠のテーマです

それは人間の生命維持と同様に

会社(企業)の存続は企業経営に携わる者にとって

基本的かつ本来的欲求だからです

企業存続の「存」は、存在価値の「存」、「続」は継続の「続」

企業は社会が要請する存在価値を

継続していかなければ生き残っていきません

これまで事業承継に携わる専門家は

自己の専門性を中心にのみ行ってまいりましたが

「事業承継」が円滑に遂行できるよう

各専門家の力を融合・結集して専門的・総合的に

実践活動を行っております



創新事業承継プロジェクトチーム



代表 高良 明
(公認会計士・税理士)
明治大学商学部卒業後、大手監査法人等の勤務を経て、1975年「高良会計事務所」開業。税務会計・監査・経営に着手。1994年「創新グループ」を結成し代表に就任、現在に至る。



吉岡 毅
(弁護士)
中央大学法学部卒業後、裁判所勤務を経て、1992年「吉岡毅法律事務所」開業。経済産業省、中小企業庁の専門委員等を歴任。事業承継のセミナー等幅広く活躍し、現在に至る。



山中 康継
(司法書士)
中央大学法学部卒業後、2003年「馬車道司法書士事務所」開業。社団法人成年後見センターリーガルサポートの会員及び簡易裁判所訴訟代理関係業務認定を受け、現在に至る。



関口 健二
(中小企業診断士)
横浜市立大学文理学部卒業後、富士火災海上保険勤務を経て、2004年中小企業診断士業務「あけぼのコンサルティングファーム」設立開業、中小企業大学校講師も務め現在に至る。



山崎 亮
(トータルライフコンサルタント)
東京経済大学経済学部卒業後、大手住宅機器メーカーを経て「フルデンシャル生命保険」に入社。事業承継、相続問題等生命保険を活用したサービスを展開し、現在に至る。



高良 高
(経営コンサルタント)
中央大学経済学部、産業能率大学卒業後、市光工業を経てタナベ経営にて経営コンサル等を実施。1994年高良明と共に「創新グループ」を結成、創新塾塾長として現在に至る。



齊藤 貴之
(経営コンサルタント)
立教大学文学部卒業後、フランスベッドでの営業及び日本エルシーエーでの再就職支援及び経営コンサル経験。2004年「創新ワールド」入社し、代表取締役として現在に至る。



石浦 一喜
(シニアリスクコンサルタント)
学校法人大原簿記学校卒業後、1992年高良会計事務所に入所し、税務会計を修得後、人事等のシニアリスクコンサルタントとして2006年「とんがりコロポ」の代表取締役として現在に至る。



小泉 薫
(社会保険労務士)
同志社大学経済学部卒業後、社会保険労務士の資格を取得して、2002年高良会計事務所に入所。税務会計・労務に携わり、2004年「とんがりコロポ」取締役として現在に至る。



卯木 信寿
(シニアリスクコンサルタント)
立教大学社会学部卒業後、大手証券会社を経て、税務会計業務に携わる。2005年高良会計事務所(現:税理士法人創新会計)に入所し、統括マネージャーとして現在に至る。



崎村 有紀
(税理士・CFP)
昭和女子大学文学部卒業後、会計事務所等にて税務会計を修得し(税理士資格取得)、2009年創新グループ「税理士法人創新会計」を設立、社員(役員)税理士として現在に至る。



竹本 朗
(不動産鑑定士)
大阪産業大学工学部卒業後、大手建設会社及び不動産会社で不動産開発業務・不動産鑑定業務等に従事し、2004年「竹本不動産鑑定事務所」を設立、現在に至る。

経営は、ゴールのない マラソンリレーである

—企業の存続—
円滑な事業承継のために

株式会社創新 事業承継プロジェクト

〒213-0011 神奈川県川崎市高津区久本3-2-3 ヴェルビュ溝の口8F
事務局(とんがりコロポ) Tel:044-850-5111 Fax:044-811-4169

創新
事業承継プロジェクト

課題山積の事業承継

後回しにしたい気持ちもわかりますが
計画的に一つずつ解決することが企業存続への道です

●社長の思い

社長(創業者)である私の経営への思いを、
後継候補者にどのように伝えればよいでしょうか?

●リスクへの対処

社長の私が執務不能になったら
会社はどうなるのでしょうか?

●組織・人事改革

会社を存続・発展していくには、
事業継承に際して、組織・人事の改革を
どのように進めていったらよいでしょうか?

●財務と保証の対処

決算書を見ると銀行借入が多く、
社長の私がすべて連帯保証人になっていますが、
財務上問題なく、連帯保証を解除するには
どうすればよいでしょうか?

お客様の声

社長自身の健康も含めて、ビジネス
のリスクがこんなにあるとは知りませ
んでした シニアリスクコンサルタン
トの指導により、損害の重要度合いと発生の確率
から当社のリスクを洗い出した結果、リスクの重
要性と対処すべき優先順位がハッキリしました

●社員との一体感

古参社員や若手社員と
後継者とがうまくやっていくには、
どうしたらよいでしょうか?

●不動産や貸付金の対処

会社に社長保有の不動産や
金銭を貸し付けていますが、
相続上何か問題はないでしょうか?

お客様の声

ご指導のとおり、公認会計士さんと後
継者候補の息子を銀行の支店長に
会ってもらい、事業承継についてご
理解をいただき、順次連帯保証人も息子に継承
していくことになりました

●後継者の育成

後継者には人望や経営管理能力、
リーダーシップが経営者の必要要件といわれますが、
どのように身に付けたらよいでしょうか?

お客様の声

息子を経営塾(創新塾)に入れていた
だいたお陰で、人間関係や仕事の幅
が広くなり、とくにリーダーシップがと
れるようになって感謝しています

●相続対策

社長の私は土地や会社の株式を
多く所有していますが、
妻や子どもにどのように相続させたらよいでしょうか、
また遺言書は必要ですか?

●資金準備

社長の私にもしものことが起きた時には、
会社の資金繰りや相続税などの資金が心配です
どうすればよいでしょうか?

●承継計画

事業継承の計画づくりが大切と聞きましたが、
どのようなプランニングをしたらよいでしょうか?

●株式(経営権と相続)の取扱

会社の株式を社長の私がほとんど所有していますが、
息子に経営権を譲渡し、相続対策をするうえで
よい方法がありますか?

●相続税対策

相続税を試算したところ
多額になりびっくりしました
何か良い対策はあるでしょうか?

お客様の声

事業承継の診断をしていただいたお
陰で、事業承継のポイントとやるべき
事が明確になり、5年後の承継を前提
に計画を作ることができました 経営幹部の理解、
株式の委譲など計画書にそって実施しています

事業承継 の 全体像

始めるのは早ければ早いほど有利です
承継ゴールを計画的に設定し、課題を一つずつ解決することで自ずと成功は見えてきます

企業存続の
ために事業承継
対策の重要性を
理解

あらゆる角度から
現状を把握

後継者の選定や
承継方法の確定

事業承継計画の
作成

事業承継計画の
発表(公表)と
関係者協力要請

実施及び
チェック・見直し

GOAL

企業の存続を目的とする
創新事業承継プロジェクトチームなら
すべての課題にワンストップでお応えできます
これまでなかった、事業承継を成功に導く
確かな選択がここにあります